

ドキドキわくわく あたらしい本 えほん

2024.6

ひき石と24^{ちょう}丁のとうふ

大西陽夫 著
アリス館

「キー ゴロゴロ キー ゴロゴロ」
きょう 今日も24丁の豆腐をつくるために
いし ひき石を回すミナさんは、いわて 岩手県の
やま 山の中にあるや 豆腐屋さんです。90歳
をこえて、め 目も見えない、あし 足もおぼつ
かない中、ひき石で作る豆腐にこだ
わっています。て ま 手間がかかるし 仕事を
とおして、むかし おなじ 豆腐の味をみん
なにつた 伝えたいという、おも ミナさんの思い
しやしん え ほん がわかる写真絵本です。

ねずくんとパパのおるすばん

とねさとえ 作・絵
Gakken

きょうはママがいないおやすみの
ひ。「ママのぶんまでがんばるぞ！」
とやるきのパパですが、ねずくんは
のりきではありません。あさごはん
も、おきがえも、こうえんのおでかけ
もうまくいなくて、ねずくんはちよつ
とふきげんになってしまいました。
「ママってすごいなあ。パパはママに
なれっこないなあ」とつぶやいたパパ
は、いいことをひらめきました。

低学年

スナックこども

令丈ヒロ子 さく まつながもえ え
理論社

おかあさんに、がみがみおこられたゆ
のんは、ふとんにはい 入ったけれど、まだむ
ねのなか 中がもやもや、ムカムカ。こんなきも
ちのときにねむれるはずありません。「あ
そこに行きしかない！」ゆのんがふとんを
とびだしむかったのは、こどもせんようの
おみせ、「スナックこども」。ゆのんはおき
ゃくさんなかまに、このもやもやをきいて
もらうことにしました。

きょうのフニフとあしたのフニフ

はせがわさとみ 作・絵
佼成出版社

あるひ 日、フニフが友だちのワムくんの
いえ 家にむかっていると、ちょうちょがいました。
「わたし、きょうから、ちょうちょだ
よ。」それをきいたフニフは、き も、くも、
きのうとちがうことにき 気づきます。「ぼく
は、きのうとなにがちがうかな。」気にな
ったフニフはワムくんにき 聞きました。

フニフとワムくんの、たのしい4つのお
はなしです。

ミリとふしぎなクスクスさん

— パスタの国の革命 —

戸森しるこ 作 木村いこ 絵
ポプラ社

ミリは小学4年生の女の子。同じクラスで、いつもかみがたや洋服がおしゃれなさくらが、ママにつくってもらったかわいいパスタのヘアアクセサリーをじまんしてきた。おもしろなくてつい、「食べものをそんなふうにしたら、よくないと思う」と、いじわるないい方をしてしまった。

学校の帰り道、おちこんでひとり歩いていたミリは、ちょうちよのかたちをしたパスタが、ひらひらと空をとんでいるのを見つけた。気になっておいかけると、パスタたちは巨大なストローみたいな「あな」の中に入ってしまった。ミリもおそろおそろ中に入ってみると、そこはパスタの国だった。

つくえ した
机の下のウサギ岡田淳 作
偕成社

おじいちゃんの家で、ひとりですばんをするこ
とになった小学生の一平は、まえからひとりです
ごしてみたいと思っていたじいちゃんの手紙で、
森の写真集を見ていた。

すると、突然の夕立ちと雷で、家がティン
となる。いなびかりからにげ、大きな机の下にも
ぐりこんだ一平は、その先に見えた明るいものに
さそわれ、はっていくと大きなウサギのいる草原
にたどりついた。「おそかったじゃないか、キョチ」
とウサギはいう。

キョチってだれ？ ふしぎに思いながらも、一平
は、ウサギと旅をはじめる。

高学年以上

ロボットのたまごをひろったら

奈雅月ありす 作 酒井以 絵
ポプラ社

ボクは財前巧。とうさんの仕事の都合上、
六年生になるまでに2回転校している。物事には
すべて理由があり、法則にのっとった世界
は美しいと思っている。そんなボクは話の合う
相手に出会えたためしがなく、残念な日々を過
ごしている。だから引っ越しを機に、これから
はひとりを楽しむことにした。

そんなある日、同じクラスの男子、ポヨが話
しかけてきた。昨日川原で変な箱を拾って、ボ
クに見てほしいという。それは、しかくくて、ロボ
ットのように見える。

その日から巧の生活がかわっていく。

再会の日

中山聖子 作
岩崎書店

両親の離婚で、六年生の陽架はお母さん
と、四年生の妹の未怜は、お父さんとおばあ
ちゃんと暮らしている。

四年前、お母さんは陽架と未怜を連れて家
を出た。だが冬の寒い日、お母さんがいないあ
いだに、おばあちゃんは未怜を陽架の目の前
でつれ去ってしまった。それから三年半、一度
も会えていない。あの時、自分が美怜を外につ
れ出さなければ、手を離さなければ今もいっし
よにいられたと、陽架はずっと後悔していた。

とあるきっかけで、陽架は未怜に会いに行く
決意をする。未怜が通っているという塾の前
で、陽架は待ちぶせすることにした。